

4 安心の保証制度

- NEO-BASIC IV工法の構造躯体は、国土交通大臣指定の（公財）日本住宅・木材技術センターの「住宅型式性能認定」を取得
- 認定を受けたことで、損保会社と連携して構造躯体の20年保証が可能（下記参照）
- 城東テクノ(株)の「キノパッキング工法」を採用することで、腐朽(腐れ)やシロアリに関しての10年保証が可能



認定書

木造住宅合理化システム
長期性能タイプ
※長期優良住宅対応



保証書

NEO-BASIC工法
トータル保証システム証書
※構造躯体を対象

NEO-BASIC工法 トータル保証システム

構造躯体(木材)に起因する賠償責任が発生した場合、20年間の大型賠償責任が付保されています。また、個人賠償責任保険付交通傷害保険特約も付いております。
※保証主 原田木材株式会社の引受け保険会社は、大手の三井住友海上火災保険 株式会社となっております。



シロアリ10年保証

城東テクノ(株)の「キノパッキング工法」の採用により、腐朽(腐れ)とシロアリに対して最長10年の保証が付きます(平成27年4月より最高1000万円)



土台と柱部分の劣化(腐れ)



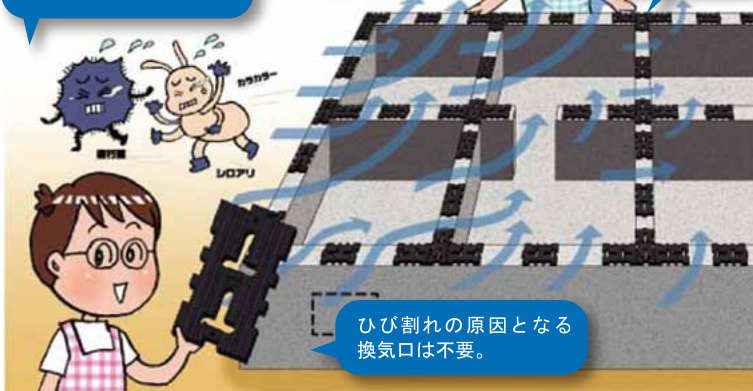
土台部分のシロアリ被害

床下を自然の風で全周換気。 住まいの長寿を実現する JoTo キノパッキング工法です。

キノパッキング工法の全周換気で湿気を逃がして住まいの大敵である木腐れやシロアリをシャットアウト。

すみずみまで換気して湿気の溜みがない。

自然の風を上手に使い電力やエネルギーは不要。



ひび割れの原因となる換気口は不要。

基礎のコンクリートは、水・セメント・砂利・砂を混ぜてつくるもので、内部に鉄筋を入れたものを鉄筋コンクリートとよびます。この鉄筋コンクリートはビルや橋梁でよく見かけるように、強度や耐久性に優れたものですが、水を混ぜてつくるものなので、水分を多く含みます。これに対し木材は水分によって劣化しやすくなります。つまり木材は乾燥状態を保つことで劣化を防ぎ、住まいの長寿を実現するのです。JoToキノパッキング工法はコンクリートと木部の間に『キノパッキング』をはさみ、空間を作ることで床下の換気を行い、同時に水分を多く含むコンクリートと乾燥状態を保つべき木材とを絶縁します。床下をカラリと乾燥状態に保つことで、住まいの長寿や健康はもちろん、省エネ効果も発揮します。

キノパッキング工法は、基礎と土台の空間が床下の隅々まで排湿する理想の自然換気工法
従来工法に比べ1.5~2倍の換気性能で耐久性が違います



唯一、阪神淡路大震災の震源地でも被害件数ゼロの実績。

地震でもズレないキノパッキング

JoToキノパッキング工法は、実物大の木造住宅を再現した振動実験や、経年住宅のデータなどでも安全性は確認された工法です。また、多くの家屋倒壊という被害を出した阪神淡路大震災でも安全性が実証された工法です。